



別紙 4 (調査研究費)

調 査 報 告 書

平成28年5月31日

木津川市議会議長 様

会 派 名 さくら会
会派代表者 尾崎 輝雄
議 員 名 尾崎輝雄、高岡伸行、山本和延、
伊藤紀味枝、谷口雄一、森本隆

調査期日	平成28年5月24日(火)～平成 年 月 日()
調査先	市内管内視察研修 5月24日(火) 午前 上狛・棚倉児童クラブ 山城高区配水池 加茂プール 5月24日(火) 午後 加茂青少年山の家・加茂プラネタリウム館
参加者氏名	尾崎輝雄、高岡伸行、山本和延、伊藤きみえ、谷口雄一、森本隆
調査項目等	別 紙

平成 28 年 5 月 31 日

さくら会 管内視察研修

平成 28 年 5 月 24 日(火) 10:00~15:30

木津川市議会 さくら会
谷口 雄一 (記)

①上狛児童クラブ・棚倉児童クラブ (見学のみ、施設概要につき資料提供を受ける)

②山城高区配水池

見学、水道工務課より現地にて施設概要の説明を受ける。

①高区配水池：1,526 m³ 鉄筋コンクリート製 S49 年築造 (42 年経過)

②低区配水池：558 m³ プレストレストコンクリート製 S37 年築造 (54 年経過)

高区配水池は、老朽化により至急耐震化対策が必要。高区・低区配水池一体化を進める。

(仮称) 山城配水池の計画：1,700 m³ ステンレス製

- ・耐震、耐久性を確保し、耐用年数は 60 年を確保する。
- ・総有効容量は 1,700 m³ で、山城地区計画最大給水量の 12 時間分を確保する。

③加茂プール (見学のみ)

④京都府加茂青少年山の家・加茂プラネタリウム館

見学、教育部より現地にて施設概要および利用状況の説明を受ける。

山の家で昼食、プラネタリウム団体投影を視聴。

①京都府加茂青少年山の家

・利用者数は、27 年度 10,818 人 (前年比 116%)、1 万人超えは平成 21 年度以来 6 年ぶりの実績。ホームページ内容の充実が効果大。

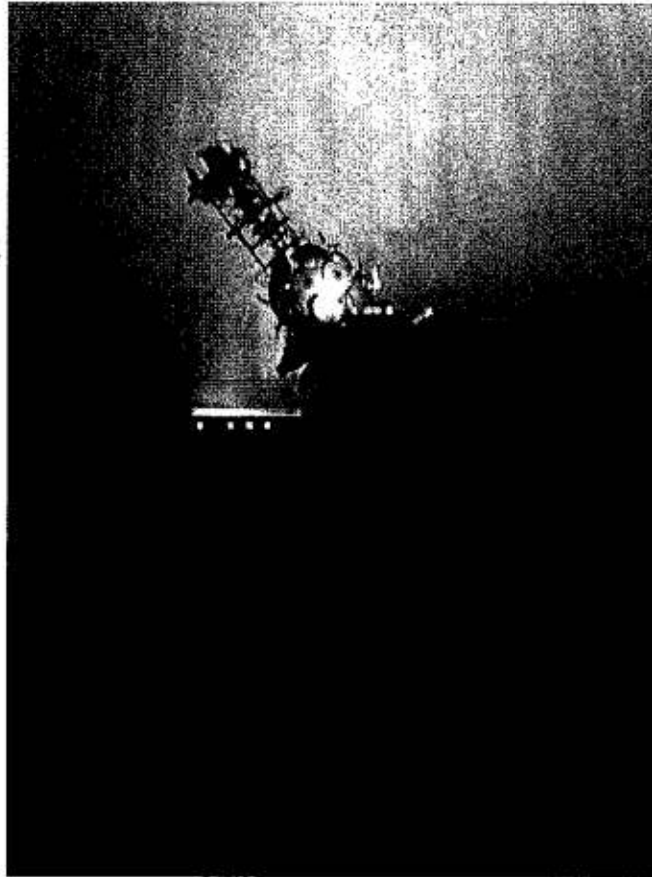
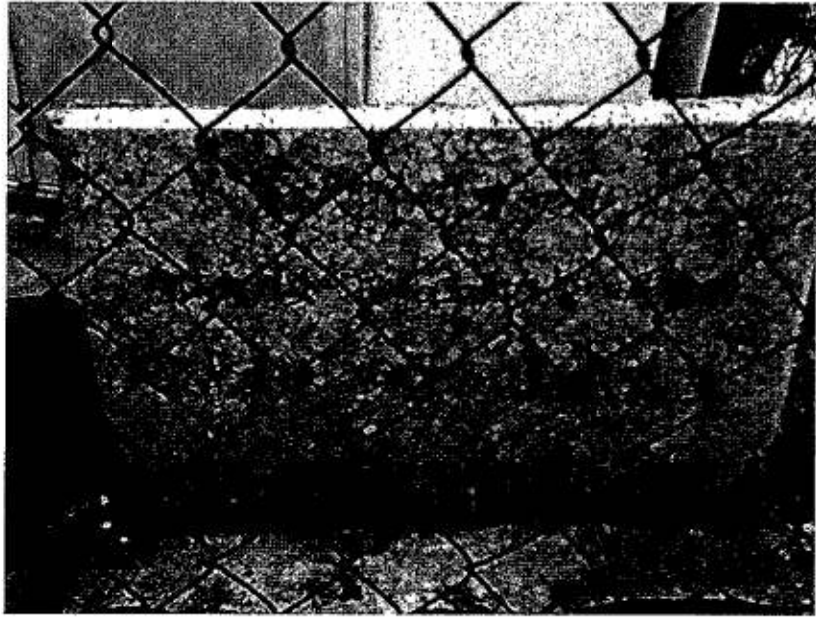
・利用金額は、6,772 千円 (前年比 120%)、600 万円超えは平成 22 年度以来 5 年ぶりの実績。宿泊客の増加が要因。バックパッカーの利用が多く、リピーターは 500~600 人。

②加茂プラネタリウム館

・利用者数、利用金額とも、前年度を上回った。投影内容を含めマンネリ化を防ぐために、新規事業を企画し、イベントは年 20 数回を実施。

両施設とも、利用者数・利用金額は増加傾向だが、事業費対比では赤字構造が続いている。公共施設等総合管理計画の策定が進められる中、行財政改革の観点からも貴重な研修となった。

以上





別紙 4 (調査研究費)

調 査 報 告 書

平成 28 年 5 月 30 日

木津川市議会議長 様

会 派 名 さくら会

会派代表者 尾崎 輝雄

議 員 名 高岡伸行、山本和延、伊藤紀味枝

倉 克伊、谷口雄一、森本 隆

調 査 期 日	平成 28 年 5 月 25 日 (水) ~ 平成 年 月 日 ()
調 査 先	1 大阪府箕面市役所 小中学校におけるエアコン・エレベーターの設置 小中学校の通学路への防犯カメラの設置 5 月 25 日 (水) 10 時 00 分 ~ 11 時 30 分 2 大阪府枚方市役所 枚方市学習環境整備 PFI 事業について 5 月 25 日 (水) 15 時 00 分 ~ 16 時 30 分 3 月 日 () 時 分 ~ 時 分
参加者氏名	箕面市役所 尾崎輝雄、高岡伸行、山本和延、伊藤きみえ、谷口雄一、森本隆、倉克伊 枚方市役所 尾崎輝雄、山本和延、伊藤きみえ、谷口雄一、森本 隆、倉 克伊
調査項目等	別 紙

平成28年 5月 30日

箕面市の「防犯カメラ導入・小中学校エアコンの取り組み」に関するさくら会研修報告
(訪問日時：平成28年5月25日(水) 10:00~11:45)

木津川市議会 さくら会
森本 隆 (記)

1 研修目的

「防犯カメラ導入の取り組み」について
「小中学校へのエアコン導入の取り組み」について

2 出席者

箕面市役所	議会事務局	中井 局長、辻村 参事
	総務部 市民安全政策室	山口 氏
	みどりまちづくり部	西田 室長
箕面市教育委員会	子ども未来創造局	井筒 氏

木津川市議会さくら会 尾崎輝雄 幹事、高岡伸行 副幹事、倉 克伊 議長
伊藤議員、山本議員、谷口議員、森本隆

3 箕面市の概要

人口 135,455 人 (木津川市比 約 1.8 倍)
面積 47.9 km² (木津川市比 約 0.56 倍)
一般会計予算 470 億円 (木津川市比 約 1.6 倍)

4 研修内容および質疑

1. 箕面市全般の取り組み

子育て日本一 : 施設一体型小中一貫校 2校、小中学校英語毎日教育
豊能広域こども救急センター (府内1位)
観光客 年間170万人 (箕面の滝中心)
柚子 自生栽培をPRしている
“たきのみち ゆずる” をキャラとして売り出している。

2. 防犯カメラの設置状況

<説明要旨>

- ・平成26年度に、全市立小中学校の通学路に750台の防犯カメラを設置。
(1校区当たり、50台規模)
具体的な場所は、市民の方には公表していない。
- ・通学路 42km、約70m毎に防犯カメラを設置 (徒歩1分 70m毎に1台を目安)
- ・予算額 1億5千万円 (1台当たり 20万円)

- ・追加取り組み：自治会に防犯カメラを設置費用の90%を補助
320台分 5760万円を計画。トータル 1110台の防犯カメラを設置。
- ・導入効果：不審者情報の件数が、30件→16件（約半分に現状）

<質疑応答>

Q1：防犯カメラ設置の背景について。

- ・箕面警察の管轄範囲は、箕面市内で行政区と同じ。
- ・箕面警察から要請があったので、設置に踏み切った。

Q2：プライバシーの問題は住民からクレーム等はなかったか。

- ・設置するときの説明会には参加して、下記意見があった。
住宅は写らない（記録時黒塗りできるようにPCにて設定）、道路のみ撮影している。
住民説明は、サンプル画像を保存して、それを見せて納得してもらっている。

・記録の方法は？

SDカードにのみ記録している。7日間程度（9日間実力）

Q3：予算措置、入札はどのようにしたのか？

- ・総額1億5千万円（カメラ 20万/台）、 交付金 5000万円、
こども基金から 5000万円を支出。

・メーカーの選定は？

4社でコンペ、アクシス社（最近キャノンに買収された）の画像がきれいの特徴を理由に採用した。

Q4：防犯カメラを設置の規模はどのように決めたのか？ メンテ費用等は？

市長の思いで、750台を設置した。

メンテ費用の用途は、10台×5万 で補修費

メーカー保証3年間、電柱の下側から確認できるランプをつけている。

カメラの耐用年数 11年間（6~7年が実力）

Q5：今後の設置予定は？

公園 300台(7000万円)、自治会 360台（90%補助、280自治会）

トータル1410台で様子をみたい。

3. 小中学校のエレベータ/エアコン導入状況

<説明要旨>

・エレベータ設置

法的根拠：大阪府福祉のまちづくり条例を根拠

平成22年度 国のスクールニューディール構想の活用

費用5050万円、市の負担 5%（H25エレベータ）で設置

・エアコン設置

H25年度で全小中学校普通教室100%エアコン設置完了

（教室の33%を占める特別教室は未設置）

平成 25 年度設置費用

小学校 268 教室 564 台 ガスエアコン : 総額 5.6 億円
中学校 23 教室 68 台 電気エアコン ; 総額 7600 万円
総費用 6.4 億円 (国 70%負担、市 30%負担)

スケジュール

H25.2 国補助交付申請、H25.3 交付決定

H25.4~9 実施設計、H25.10~H26.3 エアコン設置

<質疑応答>

Q1 : なぜエレベータ設置が先になったのか？

・対象者の方が1~2名対象の方がいた。

Q2 : 小学校はガスヒーポン、中学校は電気エアコンというように決めた背景は？

・ガス、電気との差額が2500万、ガスを導入するとガス料金安くなるので、ランニングコストを計算して仕様を決めた

電気エアコン(1教室100万)は、家庭用と業務用を比較して、家庭用(1:1)を選択
ガスヒーポン(1教室200万)室外機能力を抑えてコストダウンした。

Q3 : エアコンの使用時期、使用する条件は？ ランニングコストの工夫は？

27℃以上になったら、エアコン稼働

28℃以下設定はできない

職員室に集中コントローラがある。(市販品)

特別教室(家庭科、理科)が残っている。

夏休み 8月末 2~3日間早くスタート

ランニングコスト、ピークカットをどうするのかで費用がきまるので

職員室でコントロールする。

Q4 : 災害時の避難所等を想定してエレベータ、エアコンを設置したのか？

小学校中心に避難所を設置しているが、エアコン、エレベータは子供のために優先している。

Q5 : エアコン導入により、学校の地域活用をしているのか？

学校ごとに地域活動の部屋を入れているので、普通教室とは無関係。

Q6 : エアコン導入による学力向上は？

エアコンを設置したかどうかと学力向上の因果関係はわからない。
アンケートを実施していない。

Q7 : 運動場を芝生化する取り組みの背景は？

鳥取方式を見学して、自前で取り組んだ。
維持管理は、学校の用務員が対応している。

Q8 : メンテナンスの設定は？

エアコン : 2年保障、その後はメンテ契約(メーカーは、ばらばらである)

Q9 : トイレのドライ化の取り組みは？

トイレが汚い、臭いを解消するため、和便器は1か所残す方針

Q10 : 太陽光発電の導入仕様は？

各学校に、10KW を設置しており、災害時に対応可能。

5 まとめ

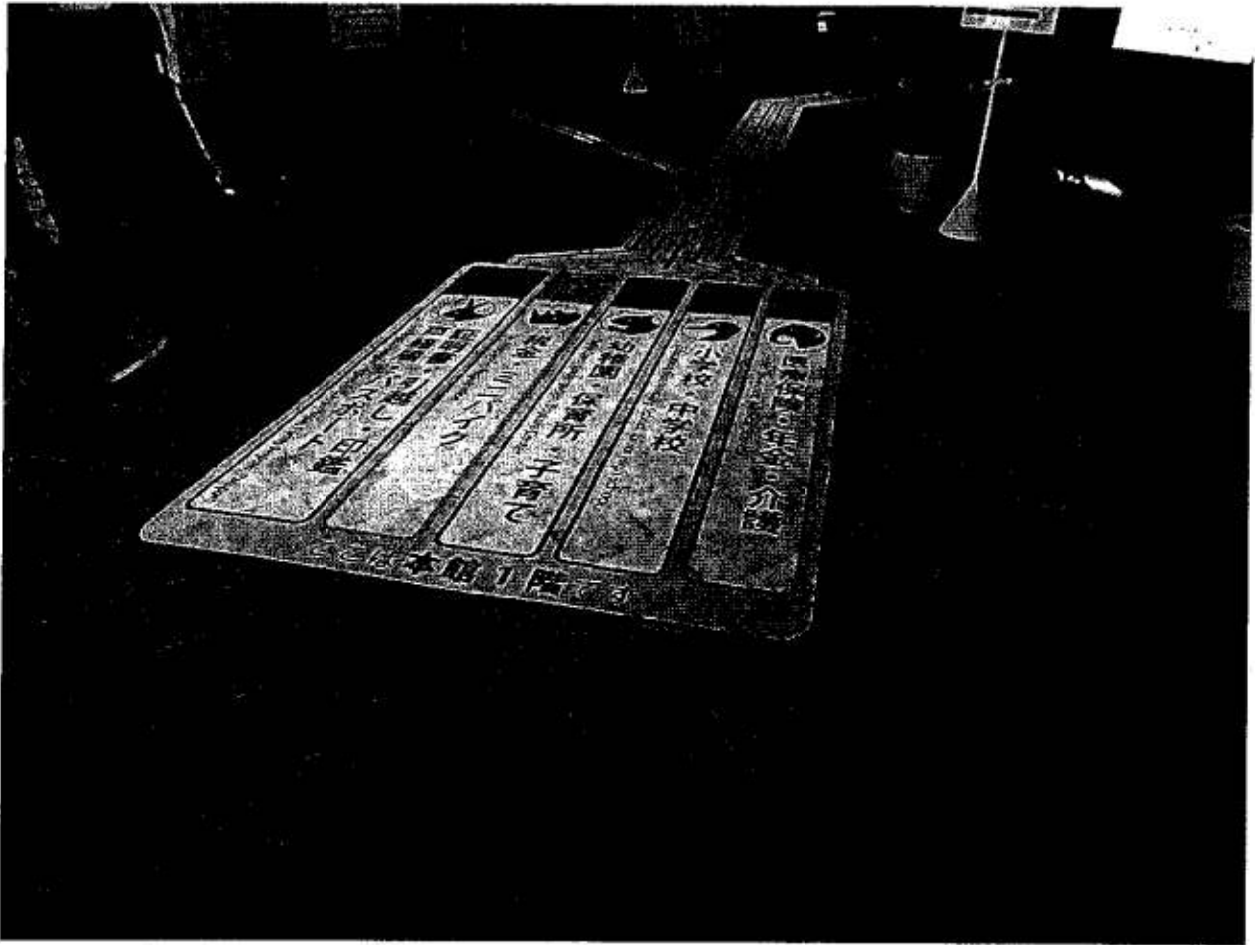
市内通学路に750台もの防犯カメラを導入している先進地自治体（笑面市）を訪問して、導入により、不審者情報の半減につながっている成果を聞いて、木津川市も拡充が必要と感じた。

また、市立小中学校にエアコンを導入している先進自治体（笑面市）を訪問して、エアコン導入の検討日程、検討手順を学ぶことができた。

特に、電気エアコンの家庭用採用によるコストダウンは、いろいろな条件で見積もりをすることの重要性を認識した。

今後、木津川市小中学校のエアコン導入の取り組みにいかしていきたい。





以上

平成28年 5月 30日

枚方市の「小中学校へのエアコン導入の取り組み」に関するさくら会研修報告

(訪問日時：平成28年5月25日(水) 15:00~16:30)

木津川市議会 さくら会
森本 隆 (記)

1 研修目的

「小中学校へのエアコン導入の取り組み」について

2 出席者

枚方市 教育環境整備室

藤井課長

枚方市教育委員会 管理部

益田室長、寺西副参事

木津川市議会さくら会

尾崎輝雄 幹事、倉 克伊 議長

伊藤議員、山本議員、谷口議員、森本隆

3 枚方市の概要

人口 405,000人 (木津川市比 約5.4倍)

面積 65.2km² (木津川市比 約0.8倍)

一般会計予算 1394億円 (木津川市比 約4.6倍)

4 研修内容および質疑

1. 小中学校、幼稚園 エアコン導入の概要

・BTO方式 (Built-Transfer-Operate) のよる導入

民間事業者が施設等を建設し、施設等完成直後に市へ所有権を移転し、民間事業者が維持管理を行う事業方式。

・小学校 45、中学校 19、幼稚園 11

H21.3~H33.3 までの契約、2001教室 (当初)

・稼働時期 : 6/1~9/30、11/20~3/31 (夏休みは7/21~8/25)

・事業費、スケジュール等

総額51.7億円 (緑 2億含む)、2001教室、259万円/1教室

11億の補助金を活用

13年間 (法定耐用年数 13年)、5年ごとに契約見直し

導入検討は通常3年を1.9年で実施 (当時の中司市長トップ指示)

2. 質疑応答

Q1: 要求水準仕様書を作成するにあたっての手順は?

H18より、可能性調査 (基本計画) を実施。

コンサルで可能性を調査、枚方市 専任 4名 (京都市 5名)

政策推進課（企画）、PFI 事業を旗印に進めた

Q 2 : 入札の状況は？ ランニング費用の削減工夫は？

問い合わせ 10 社 → 2 社で応札（電気）、1 社辞退（ガス）

緑の取り組み 2 億円、キュービクル 10 校

場所により、プロパンがある。

電気の事業者を見直しして、成果があった学校には図書費で還元している。

Q 3 : 契約期間 13 年以降はどうするのか？

13 年では壊れないと思っている。

Q 4 : 教員、保護者からの意見は？

夏休み短縮については、教員から文句はでない

教員からは、エアコン導入には感謝されている。

Q 5 : ランニングコスト、削減の取り組みは？

温度設定（基本 28℃で集中管理）、実運用は 26℃

小学校 16.3 教室、年間 122 万円

中学校 15.8 教室、年間 200 万円

電力会社の見直しで削減している。

Q 6 : 学校の地域等の活用はされているか？

特別教室中心に活用している。

Q 7 : 導入の背景と反響は？

枚方の子供達に、エアコン、きれいなトイレという思いで導入。

6 月~9 月が暑くなっているので、エアコンを導入して良かったという意見が多い。

Q 8 : トイレの洋式化の状況は？

洋式化改修 約 30%（和式 1 個）、ドライ方式で進めている。

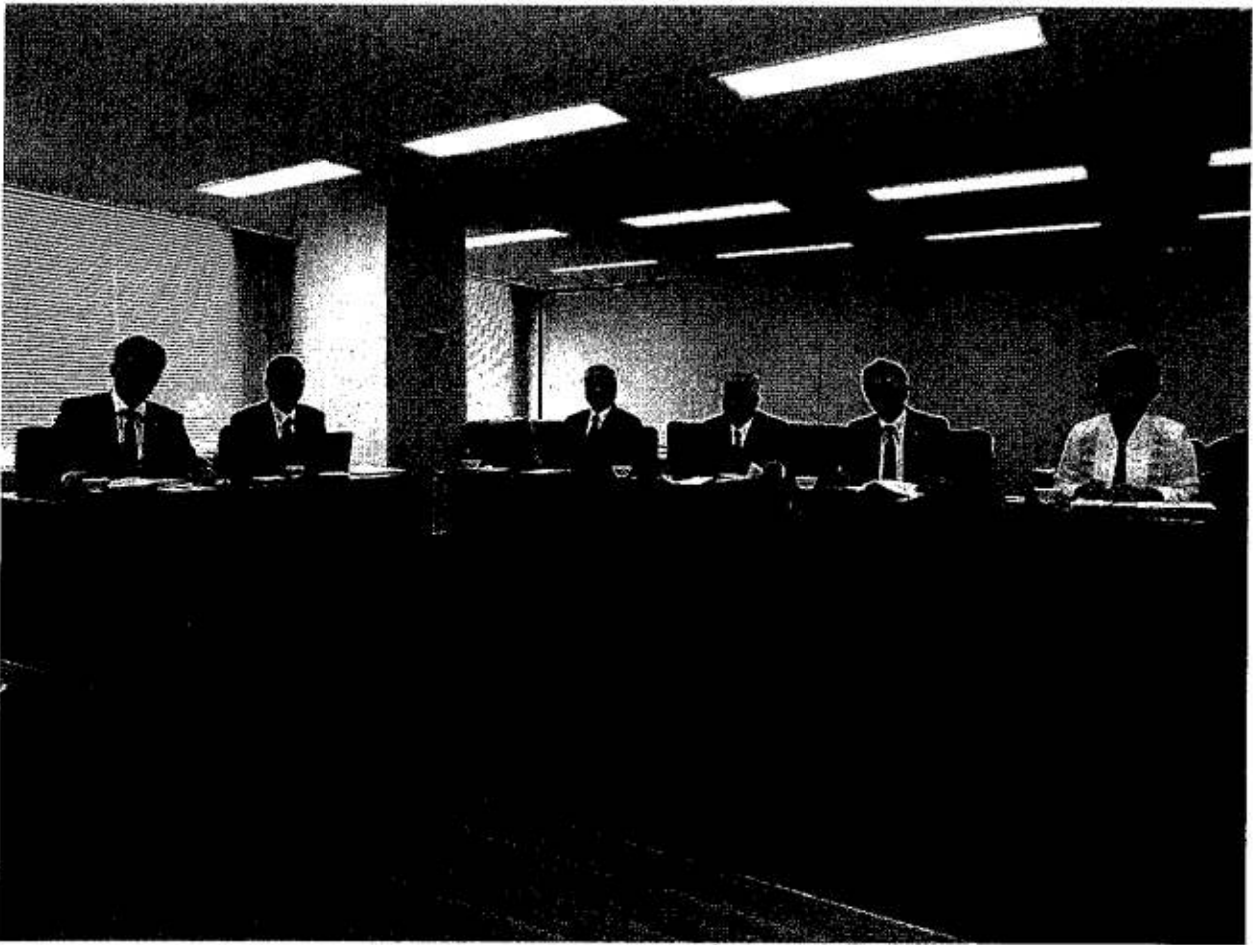
5 まとめ

市立小中学校にエアコンを導入している先進自治体（枚方市）を訪問して、

エアコン導入の検討日程、検討手順を学ぶことができた。

特に、BTO 方式による導入は、一斉導入が可能になるので、木津川市の導入時にも大きなメリットがあると感じた。

今後、木津川市小中学校のエアコン導入の取り組みにいかしていきたい。





以上



別紙4 (調査研究費)

調 査 報 告 書

平成28年10月5日

木津川市議会議長 様

会 派 名 さくら会
会派代表者 尾崎 輝雄
議 員 名 尾崎輝雄、高岡伸行、山本和延、
伊藤紀味枝、倉 克伊、谷口雄一、森本隆

調査期日	平成28年10月4日(火)～平成28年 月 日()
調査先	1 滋賀県湖南市 湖南省学校給食センターの概要 10月 4日(火) 13時00分～15時00分
	2 月 日() 時 分～ 時 分
	3 月 日() 時 分～ 時 分
参加者氏名	尾崎輝雄、高岡伸行、山本和延、伊藤きみえ、谷口雄一、森本隆、倉克伊
調査項目等	別 紙

平成28年 10月 5日

湖南省の「学校給食センター建設工事」に関するさくら会研修報告

(訪問日時：平成28年10月4日(火) 13:00～15:00)

木津川市議会 さくら会
森本 隆 (記)

1 研修目的

「学校給食センター建設工事の取り組み」について

2 出席者

湖南省役所	教育委員会事務局	教育部	中村 部長
	教育総務課	学校給食センター	中井 所長
	議会事務局		佐藤 書記

木津川市議会さくら会 尾崎 幹事、高岡 副幹事、倉 議長
伊藤 議員、山本 議員、谷口 議員、森本 隆

3 滋賀県湖南省の概要

人口 55,002人 (木津川市比 約0.73倍)
面積 70.49k㎡ (木津川市比 約0.8倍)
一般会計予算 227億円 (木津川市比 約0.73倍)

4 研修内容および質疑

1. 湖南省全般

平成17年に、石部町と甲西町(こうさい)2町合併。

湖南工業団地等のベッドタウン

外国籍の子供が多い(ブラジル、ペルー等)

小学校 168人、中学校 60人 (在籍率 約4%)

日本語教室実施、運動会での2か国語放送実施

2. 学校給食センター建設工事

<説明要旨>

- ・平成27年4月運営開始
- ・事業実施：平成25年11月8日～平成26年12月26日
- ・経過：基本、実施設計業務に着手(平成24年7月～平成25年9月)
建築工事(平成25年11月～平成26年12月)
外構他(平成26年10月～平成26年12月)
計画～完成：2年5ヵ月
- ・調理、運搬委託者：株式会社 東洋食品(5年契約)

<詳細仕様>

・建物概要

鉄骨造り一部2階建て

敷地面積 : 6942m²

延べ床面積 : 3614m² (1F:2839m²、2F:775m²)

居室 : 事務室、検収室、炊飯室、焼き物・揚げ物・煮物調理室、アレルギー対応調理室
煮炊調理室、和え物室、研修室

ドライシステムにて運用

・対応校 : 年 233回給食実施

幼稚園 (2園)

保育園 (7園) 3歳児以上

こども園 (2園) 3歳児以上

小学校 (9校)

中学校 (3校) (1校は、自校方式)

・最大調理食数

7000食 (一日当たり)

・災害時受援施設

本施設は、災害時において応援協定などに基づく支援者を受け入れる施設であり、
災害時にはプロパンガスを使用して、約800食を提供する。

・喫食時間 : 保育園 11:30~、小学校 12:20、中学校 12:50

・体制 : 職員 5名 (2名は、栄養職員)

委託従事者 : 調理員 43人、配送員 9人

<質疑応答>

Q1 : 建築費等の内訳は。

総工費 17.2億円 (2.5億円交付金)

土地 市街化調整区域 (旧 資材置き場)、農地

入札 分離発注 (市の方針)

建設 63500万円、電気 19700万円、機械 43000万円

厨房 38800万円、外構 1800万円、太陽光 2600万円

設計 2200万円、土地は別途

Q2 : 旧給食センターの跡地は。

・市役所の東庁舎を別途建築中 (2700m²)

Q3 : 災害時受援施設になった背景は。

・東日本大震災以降、ボランティアを受け入れる市の方針のため。

Q4 : 対応食数は。冷凍食品を使用していて苦情はないか。

・7000食対応、5600食が平常時。

・給食センターは、一括の衛生管理ができるのがメリット。

・年1回、夏休みに市民試食会を開催して理解を得る取り組みをしている。

Q5：食物アレルギー対応の詳細は。

卵なしのアレルギーのみ対応（市長より拡大要請もあるが対応難しい）

一日 40食弱対応。

Q6：建設時、どこの新センターを参考にしたのか。

・野洲市：1万m²、残飯リサイクル

・米原市：オール電化 等

Q7：PFIを活用しないのか。

・野洲市で学校の清掃管理を契約して、契約変更が数十年できない等の事例があるので採用しなかった。

Q8：給食費は。

小学校 3800円、中学校 4500円、幼稚園 3500円

Q9：運搬の状況。

・コンテナ 学校毎に3台、トラック 3往復/日、配送時間 最大15分

給食センターは市内の真中に位置する。

Q10：受け入れ検査は。

目視で実施。年1回は、正式な検査を実施。

Q11：献立の特徴は。

・週4回、 湖南省産コシヒカリのご飯食。みそも市内産。

野菜等もなるべく市内産使用している。

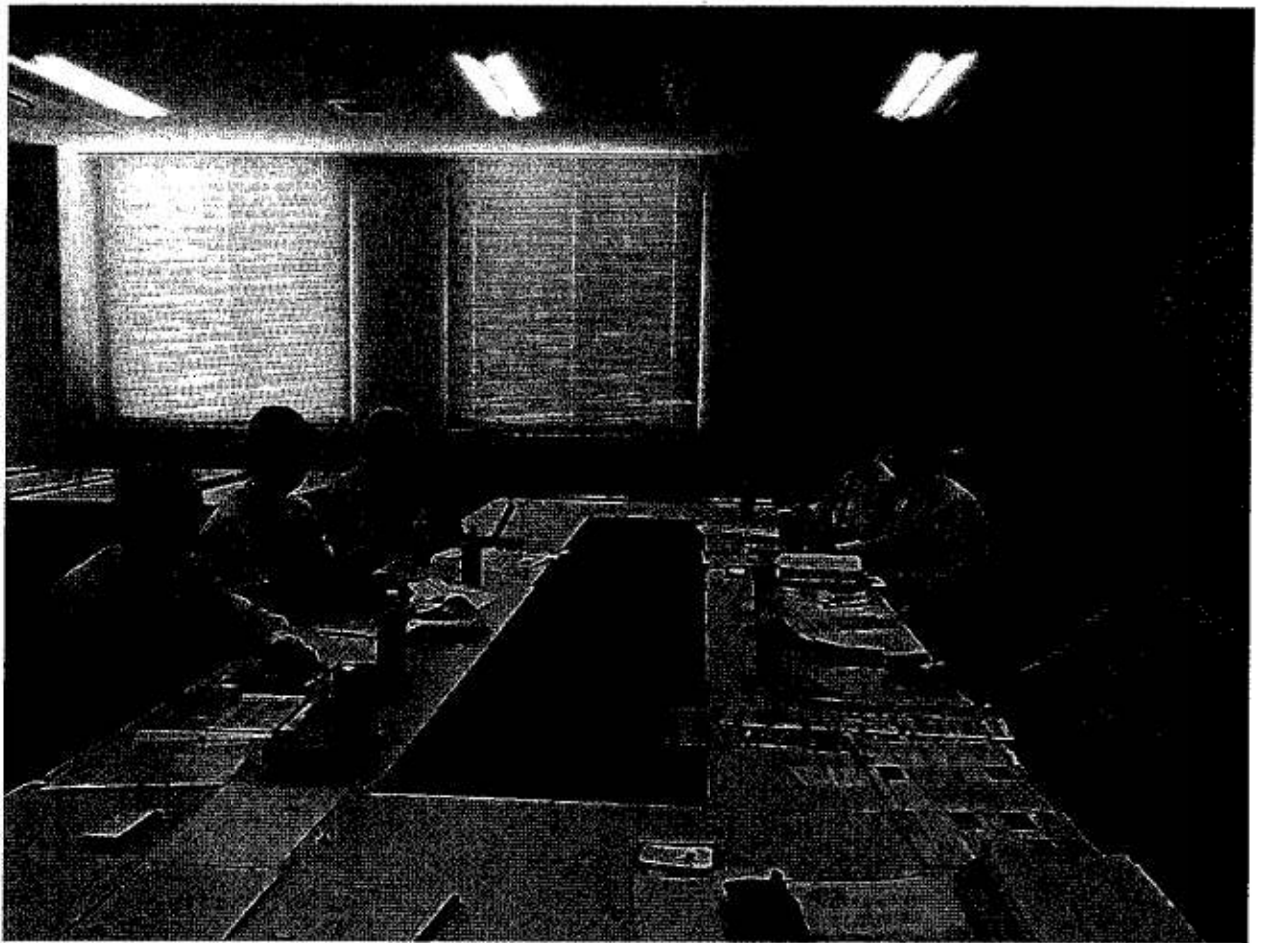
5 まとめ

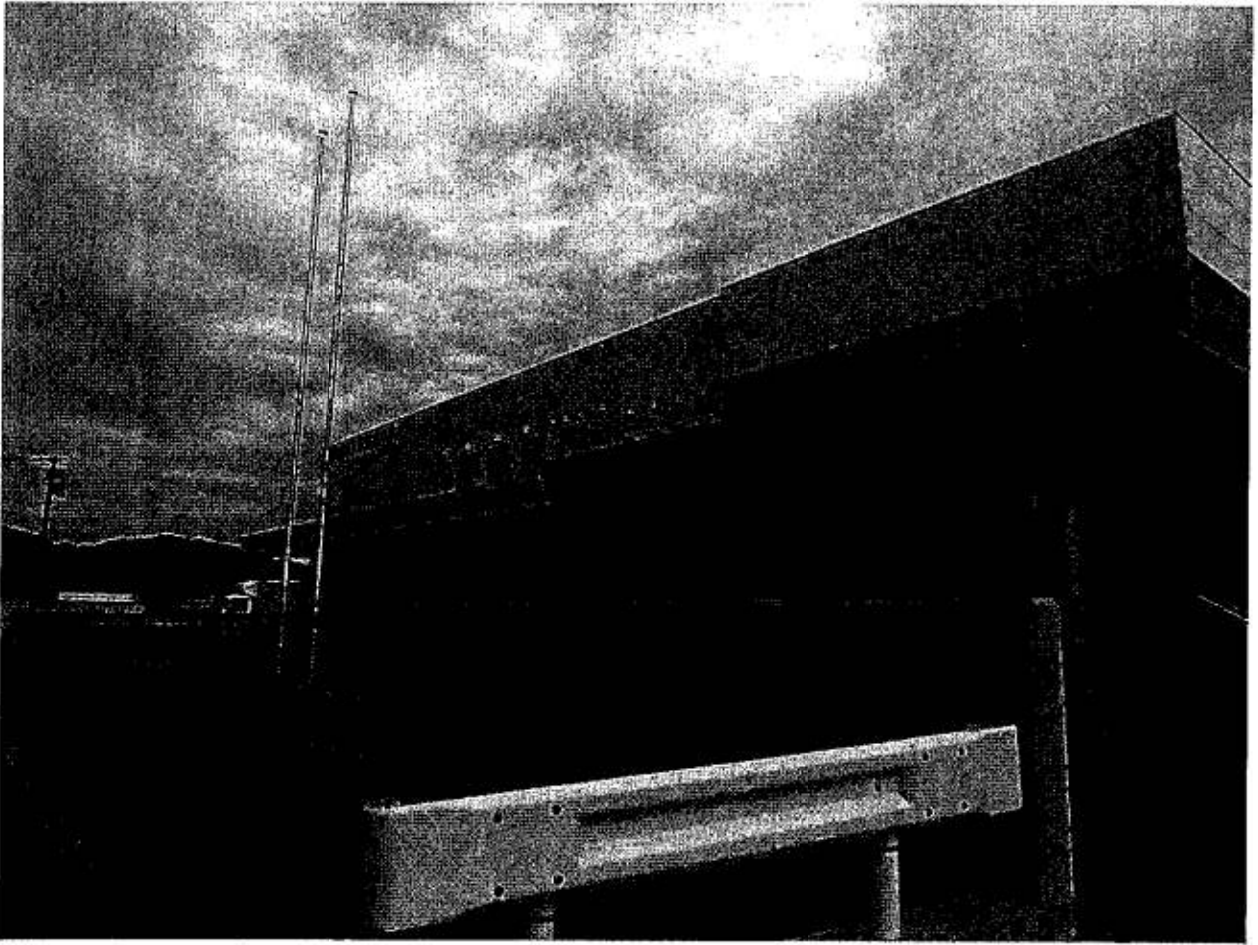
市で計画されている7000食対応と同規模の最新給食センターを訪問することにより、建物規模、設備内容、予算内容、運用課題を確認でき、非常に参考になった。

大型の給食センターを建設することにより、一括の衛生管理ができることは、給食の安全に対して最大のメリットであり、食品工場並みのレベルの高い衛生管理である湖南省給食センターの対応は素晴らしいと感じた。

今後、市の新給食センター建設の取り組みにいかしていきたい。

以上





以上



別紙 4 (調査研究費)

調 査 報 告 書

平成29年2月28日

木津川市議会議長 様

会 派 名 さくら会

会派代表者 尾崎 輝雄

議 員 名 尾崎輝雄、高岡伸行、山本和延、

伊藤紀味枝、倉 克伊、谷口雄一、森本隆

調査期日	平成29年2月8日(水)～平成29年2月9日(木)
調査先	1 福井県大飯町大飯発電所 2月 8日(水) 13時00分～15時20分 2 福井県坂井市 シティーセールスの施策について 2月 9日(木) 10時00分～12時00分 3 月 日() 時 分～ 時 分
参加者氏名	尾崎輝雄、高岡伸行、山本和延、伊藤さみえ、谷口雄一、森本隆、倉克伊
調査項目等	別 紙

平成 29 年 2 月 28 日

大飯発電所（福井県おおい町）、さくら会研修報告

（研修：平成 29 年 2 月 8 日(水) 13:00～15:20)

木津川市議会 さくら会
谷口 雄一（記）

1 研修目的

本市は、木津川市地域防災計画において、府が定める原子力災害に係る広域避難要領に基づき、宮津市からの広域避難者の受入れを予定している。

原子力発電所の実地視察を通じ、東日本大震災後の安全対策や稼働状況等を調査する。

2 対応者

関西電力 大飯発電所
関西電力 京都支社
木津川市 さくら会

ご担当者
飛田部長
倉議長、尾崎議員、高岡議員、山本議員、
伊藤議員、森本議員、谷口

3 福井県おおい町および大飯発電所の概要（宮津市とは直線距離、約 40 km）

おおい町

- ・人口 8,350 人
- ・面積 212 km²（木津川市比 約 2.5 倍）
- ・一般会計予算 104 億円

大飯発電所

- ・敷地面積 1.88 km²
- ・電気出力 1・2 号機＝各 117.5 万 kW、3・4 号機＝各 118 万 kW、合計 471 kW
- ・運転開始 1・2 号機（S54）→廃炉の方向
3 号機（H3）、4 号機（H5）→再稼働申請中

4 研修内容および質疑

- 1) 大飯発電所 P R 館、・・・発電所の概況説明、ビデオ視聴
- 2) おおいり館・・・1 / 3 模型による発電の仕組みについて説明を受ける。
- 3) 構内視察・・・

発電所建屋、中央制御室、主変電機、海水淡水化装置、取水口他

<主な質疑応答>

Q、排水ポンプ車の待機態勢は

A、5・t／分×6台

Q、職員の勤務体制は

A、24時間稼働、5班3交代制、内1班は研修等を実施し、人材育成を図る

Q、職員数は

A、関電正職員約500名、他関連会社2,000名

Q、稼働停止による損失は

A、1日当たり約3億円の損失

Q、緊急時に職員を集めるために、どう取り組んでいるのか

A、休日時の行動計画を事前に登録する等、対応については工夫して取り組んでいる

⑤まとめ

敷地内に入場の際に、免許証等の身分証明の提示が徹底され、幾重にもわたるゲート設置があり、テロ等の不審者侵入対策につきセキュリティの高さがうかがえた。

機械は故障し、人はミスをすることを前提に、止める、冷やす、閉じ込めるといった多重の防護システムが採用されているとの説明を受けた。

また、東日本大震災の福島原発での教訓を生かし、津波対策として、かさ上げした防波堤と建屋自体には水密扉の設置を確認した。



平成29年 2月 13日

福井県坂井市「シティセールスの施策」に関するさくら会研修報告

(訪問日時：平成29年2月9日(木) 10:00~12:00)

木津川市議会 さくら会
森本 隆 (記)

1 研修目的

「シティセールスの施策について」

2 出席者

坂井市役所 総合政策部シティセールス推進課	林 課長
坂井市役所 総合政策部シティセールス推進課	北川課長補佐
坂井市役所 議会事務局	西 局長
坂井市議会 総務常任委員会	南川 委員長
木津川市議会さくら会	尾崎幹事、高岡副幹事 倉議長、 伊藤議員、山本議員、谷口議員、森本隆

3 坂井市の概要

人口 92,800人 (木津川市比 約1.24倍)
面積 209㎡ (木津川市比 約2.5倍)
一般会計予算 409億円 (木津川市比 約1.4倍)

4 研修内容および質疑

1. シティセールス施策について

・坂井市課題：

住みやすさランキング5年連続5位以内、しかし、認知度 900位レベル。
⇒シティセールスの施策を進めてきた。

・主な施策：

- ① 新駅名プロジェクト：4つの駅名を変更、共働き世代を呼び込むため。(反対ゼロ)
- ② 越前織ストラップ：ストラップデザインコンテスト (147自治体が参加)、今治タオルが見本
・在日大使館にも売り込む。(7か国：セルビア、コロンビア、)
- ③ 空き店舗でアンテナショップ (東京品川区)
・平日：1万人、休日：2万人、一日 40万円の売上 (年末)
- ④ 麵打ち対決 (丸亀城、丸岡城) イベント：通年 500~800名 ⇒5000~6000名 へ10倍増

2. 質疑応答

Q1：シティセールス課の体制と予算は？（森本）

- ・課の体制は、初年度 3名⇒ 2年目 4名
- ・予算は、初年度 6000万円（4500万円交付金）、2年目 3000万円
- ・住みよさランキングが住民に満足するレベルとなり、その次のステップとして、シティセールスができると考えている。

Q2：シティセールスの今後の取り組みは？（伊藤）

- ・他自治体との連携強化：きゅうり、なす。玉ねぎ
- ・市長ができるスタッフを集めた
イノベーションを起こすには切り口が大事

Q3：ブランド化への取り組みは？（高岡）

- ・越前織ストラップ作成を進めているが、ブランド化は考えていない。
- ・ストラップ：部、課 単位、学校単位に応募を下げた
版代 5万円、単価 300~400円

Q4：シティセールスの数値化、目標化は？（谷口）

- ・市長の強い思いで、全国公募で、責任者（課長）に元マクドナルド広報部長を登用した。
担当者についても、市の職員から選抜された方を配置。
- ・認知度と市民の誇りを上げること。（5年あればできる）
- ・居注意欲度をアップさせていきたい。
- ・相模原市でも、シティセールスを実施してきた。
① 地盤が強い。②リニアの駅。③高速のIC 2か所できた ことをアピールした。

Q5：給食の取り組みは？（谷口）

- ・東京都品川区 カニ給食を予定（カニ1匹を出す）

Q6：お茶の取り組みを進めるとのことだが、具体的には？（倉）

- ・ティーバックを考えている。
- 小ロットで対応するところを探している。

5 まとめ

坂井市のシティセールス施策の取り組みを研修して、シティプロモーションの具体的な取り組みの参考になった。

特に、イベント取り組み、マスメディアへのPR方法は、坂井市独自のものであり、参考になった。

今後、木津川市の子育て支援を他市へのアピールする取り組みにいかしていきたい。





以上